

平成 29 年 6 月 22 日

岐阜市長
細江茂光様

日本共産党岐阜市議会議員団
団長 堀田信夫
岐阜市議会無所属クラブ
代表 服部勝弘

公務出張で航空機を利用した際、個人のマイレージカードに
マイルを蓄積利用する行為の是正を求める申し入れ

標記については、本年6月議会本会議の堀田信夫議員質問で、細江茂光市長
に対し、公私混同などの疑いの指摘がされました。また、6月20日の各新聞
報道でも、他自治体の例も挙げながら岐阜市の問題点が指摘されたところです。

公務出張の航空券は税金で購入されており、航空券購入に伴って発生する果
実たるマイルは、納税者たる市民全体への帰属となります。そのマイルが個人
カードに蓄積されている行為は、既に不適正、違法の疑いがあります。

そこで、下記のとおり申し入れます。

記

- 1 細江茂光岐阜市長が就任して今日までに、市長公務出張で航空機を利用し
た際に、細江茂光氏個人のマイレージカードに蓄積されたマイル量を明らか
にすること。
- 2 上記1のマイルは岐阜市に返還すること。
- 3 ブラチスラバ市、ウィーン市出張（本年7月3日～9日・予算770万円）
の航空機利用の際に、細江茂光氏・職員個人マイレージカードへのマイル
蓄積を行わないこと。
- 4 公務出張の航空券購入に伴って発生する事実たるマイルが、納税者たる市
民全体に帰属する制度を、倫理規定と合わせて早急に制度化すること。